



今月号のテーマは、教職員の働き方改革関連の令和2年度予算案、それに基づく取組について紹介します。

Topic

①

令和2年度“教職員の働き方改革” 関連予算案

概要① 前年度比 約 11億円※ 増額

※会計年度任用職員の制度移行に伴う期末勤勉手当等の増額分も含んでいます

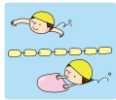


教職員がやりがいを感じながら心身ともに健康で生き生きと働くことができる環境を整えます。

概要② 新規・拡充事業

専門スタッフの配置や業務の精査・精選を進めるための事業です。

プール清掃業務委託



これまで一部の学校が学校配当予算で行っていたプール清掃業務委託を事務局から一括委託します。

ICTを活用した研修・業務の効率化



- ・「教材等共有システム」の本格運用を開始
- ・「学校と家庭をつなぐ情報共有システム」を構築 (令和3年4月本格運用開始予定)

中学校部活動支援事業 部活動指導員 180人→310人

小学校高学年における一部教科分担制の推進 推進校 32校→82校

！継続していきます！ 職員室業務アシスタントの配置 横浜市学力学習状況調査のデータ入力・集計外部委託

Topic

②

「学校と家庭をつなぐ情報共有システム」試験導入 (平成31年3月～令和2年3月)

「学校と家庭をつなぐ情報共有システム」を市内6校※で試験導入を行っています。

※市ヶ尾小学校、上菅田小学校、鴨居中学校、蒔田中学校、みなと総合高等学校、左近山特別支援学校

目的

学校と家庭の間の連絡・情報共有において、ICTを活用することで円滑化・効率化を図ります。

横浜市立学校 教職員の働き方改革プラン 戦略Ⅰ：学校の業務改善支援 (Ⅰ) ICTを活用した業務改善支援

試行している主な機能

①24時間欠席連絡受付



「こちらは〇〇小学校欠席・遅刻連絡ダイヤルです」

「病気の場合は①を」
「けがの場合は②を」
「その他の場合は③を」
「遅刻の場合は④を…」

②学校情報のデジタル配信&返信 (電子アンケート含む)



③災害時等緊急情報の送信&返信



試行導入校の声 (主なもの)



・試みとしては、大変よいと思う。ただ、まだまだ改善が必要だと思う。

・働き方改革としては成果だと思いますが、保護者とのコミュニケーション不足にならないか心配です。

・職員室と教室が離れているので、教室でも確認できるようになれば便利。

・校務システム等とリンクされていくと業務が大幅に軽減されると思います。

・朝の電話連絡が減るという点は利点である。その場になかった教職員への伝言ミスもなくなる。



・とても便利な機能だし、学校も保護者もメリットは多いと感じる。

・基本的にはこのようなシステムの導入には賛成です。

・保護者も「知らない、できない」と否定的にならないで、いろいろやってみていかないといけないと思う。

・必要だとは思いますが、子どもを通じてやりとりすることで、子どもも成長すると思う。

・保護者のメリットだけではなく、学校側のメリットも説明して頂けると協力の必要性をより感じられると思います。

・先生方はもちろん、親も何かと忙しいので、データでお知らせのやり取りは、早く便利だと思う。

・紙とデータと、場面によってうまく使い分けて活用したらよいと思います。

・部活の欠席連絡に使えると便利だと思う。

・先生へ細かな説明ができる機能を作ってほしい。学校と保護者とのコミュニケーションツールとしても利用できればよいです。

今後に向けた検討事項

- ・教職員、保護者へのサポート体制
- ・校務システムとの連動
- ・校外からのアクセス など

今後の方向性

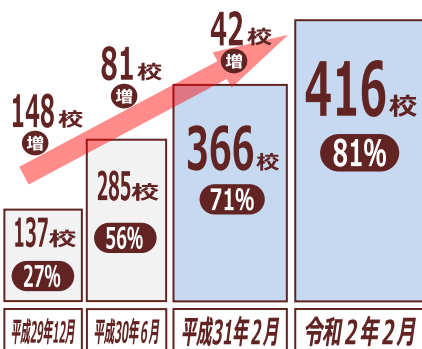
令和2年度 システム構築・導入準備

令和3年度 本格運用

報告 平日の留守番電話設定状況 (令和2年2月1日時点)

平日の留守番電話の導入が広がっています。これも、保護者や地域の方のご理解やご協力があったること。導入前に保護者や地域の方へ説明をしたり、近隣の学校と連携をとって方法を相談したりしながら、設定しています。

設定校数の推移



設定時刻

設定校のうち約89%が18:00~19:00に設定

今年度、設定時刻を早めた学校 **44**校

時刻	校数	内訳
18:00~	170校	小:159 中:9 特:2
18:30~	118校	小:99 中:18 高:1
19:00~	83校	小:46 中:36 特:1

どの位の時間、早めましたか?

約60分	17校	約45分	3校
約30分	23校	約15分	2校

現状は、勤務時間終了後すぐ設定している学校は少なく、勤務時間終了から1時間以上経ってからの設定がほとんどです。

設定校からの声 (抜粋)

勤務時間について、教職員の意識改革

- ・仕事の区切りが付けやすくなった。
- ・仕事に集中できる時間ができた。
- ・保護者への連絡を早めにするようになった。

保護者や地域の方のご協力

- ・17時30分までに連絡をくれるようになった。

未設定校からの声 (抜粋)

連絡体制の確保

- ・勤務時間後にも保護者、関係機関等からの重要な連絡が入る可能性があるため。
- ・緊急時の対応について、検討中のため。

必要性がない

- ・設置が必要という意見が今のところ出ていないから。

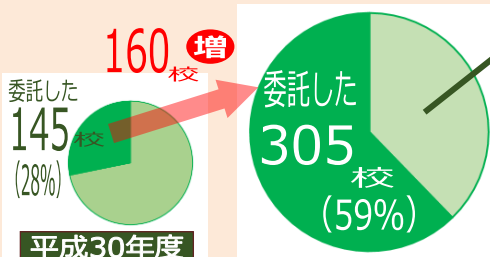
【内訳】	平成31年2月	令和2年2月
小学校	306校(89%)	324校(95%)
中学校	55校(37%)	86校(58%)
特別支援学校	3校(25%)	4校(31%)
高等学校	2校(18%)	2校(18%)

小学校には義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程が含まれます。



中学校は、部活動の最終下校後30~60分後に設定している学校が多いようで、季節による時刻の変動があります。勤務時間外の電話は、業務に関係しない内容も多くあります。一方、緊急対応で時間を過ぎる場合は設定しないなど、臨機応変に活用しています。

報告 令和元年度 プール清掃の外部委託状況 (令和元年11月6日時点)



委託しなかった 209校

委託しなかった理由

理由	小学校	中学校
配当予算では対応できない	27校	28校
委託先が分からない	3校	5校
スケジュールが間に合わない	8校	12校
その他	5校	29校

その他(主なもの)

- ・プール改修工事等のため
- ・部活動の活動の一環のため
- ・保護者ボランティアでやっていたため

「委託をするにしても、業者とのスケジュール調整や予算確保の難しさがある」というご意見を多くいただきました。これらのご意見をもとに、令和2年度予算案に新規事業「プール清掃業務委託」を計上し、局一括委託としました。委託先には、福祉との連携という視点からも市内の障害者就労施設が含まれています。

Smile

News

学校の働き方改革フォーラム~優良事例大集合!広げよう実践の輪~ で横浜市の取組を紹介

1月31日(金)文部科学省主催の「学校の働き方改革フォーラム」で横浜市の取組(羽沢小学校「教科分担制の推進で働き方改革と子供たちの心の安定を」、左近山特別支援学校「情報共有のICT化による業務改善」)が紹介されました。Smileを紹介したパネルの前には、全国の参会者が多く集まってくれていました。



Smileをパネルで紹介

羽沢小学校の事例紹介

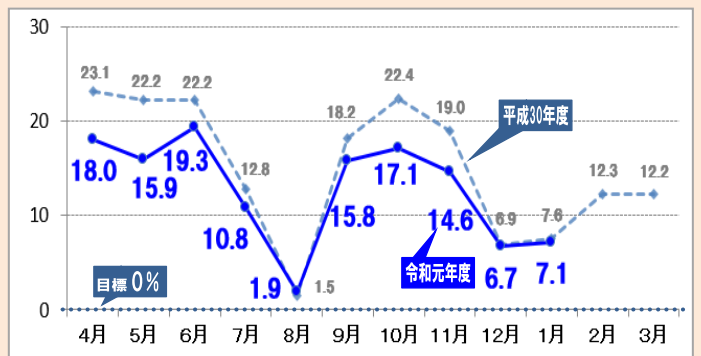
パネルディスカッション

当日の様子: https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/uneishien/detail/1422164.htm

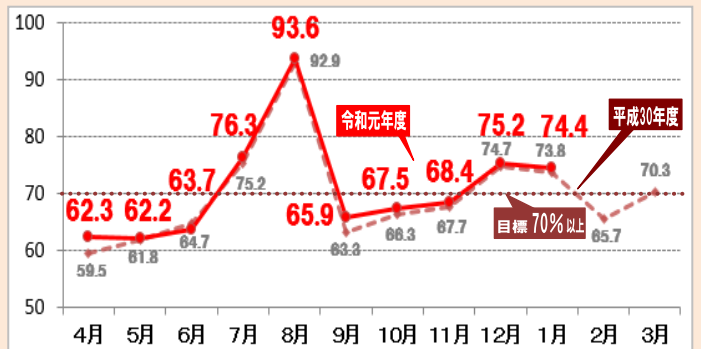
学校における働き方改革~取組事例集~: https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/hatarakikata/mext_00428.html

(1) 「教職員の働き方改革プラン」達成目標との比較・推移 (令和2年2月4日時点)

項目				目標
時間外勤務月 80 時間超の教職員の割合				0%
令和2年1月実績				参考値
平均	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校
7.1%	1.9%	19.3%	0.6%	15.7%
😊 前年比 -0.5	😊 前年比 -0.1	😊 前年比 -1.3	😞 前年比 ±0	



項目				目標
19 時までには退勤する教職員の割合				70%以上
令和2年1月実績				参考値
平均	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校
74.4%	73.1%	73.9%	88.5%	71.9%
😊 前年比 +0.6	😊 前年比 +0.6	😊 前年比 +0.5	😊 前年比 +1.4	



※退勤管理を導入した小・中・義務・特支の教員について、IC カード等による記録から機械的に算出した集計結果。(以下、同様)

(2) 時間外勤務 (令和2年1月) の詳細

◇ 時間外勤務の割合 (全校種平均)

年度	80時間超	45時間超80時間以下	45時間以下
平成31年1月	7.6%	29.5%	62.9%
令和2年1月	7.1%	29.5%	63.4%

◇ 時間外勤務の割合 (校種別割合)

月あたり時間外勤務	令和2年1月			参考値	
	100時間超	80時間超100時間以下	小計 80時間超	小計 45時間超80時間以下	小計 45時間以下
小学校	0.3%	1.6%	1.9%	30.0%	68.1%
前年比	±0	-0.2	-0.1	-0.3	+0.4
中学校	8.1%	11.2%	19.3%	33.2%	47.5%
前年比	-1.7	+0.4	-1.3	+1.2	+0.1
特別支援学校	0.3%	0.4%	0.6%	8.1%	91.3%
前年比	+0.1	±0	±0	-2.2	+2.2
平均	2.7%	4.5%	7.1%	29.5%	63.4%
前年比	-0.5	+0.1	-0.5	±0	+0.5
高等学校	7.5%	8.2%	15.7%	24.7%	59.5%



数値については、昨年度とほぼ変わらない状況です。着実な改善に向かうためには、働き方改革への意識が教職員一人ひとりに浸透してくることが大切です。残り2か月は、年度末の繁忙期。4~6月、9~11月の「時間外勤務月 80 時間超の教職員の割合」の改善と同じ傾向がみられることを期待します。

※本資料の数値については、項目ごとに四捨五入により端数処理を行っているため、合計と内訳の和とが一致しない場合があります。